

ロボット遠隔操作サービスを 活用した外観検査システム

協賛展示: リモートロボティクス株式会社 TDSE株式会社

- 人による作業、ロボットによる完全自動化のどちらでもない、リモートによる人とロボットの役割分担という新たなリモートワークを実現するクラウドサービス「Remolink」を活用し、リモートシステムで人とロボットが共に働く新しいワークスタイルをご提案

完全自動化は目指さなくていい 人とロボットがリモートで共に働く、 新しい選択肢

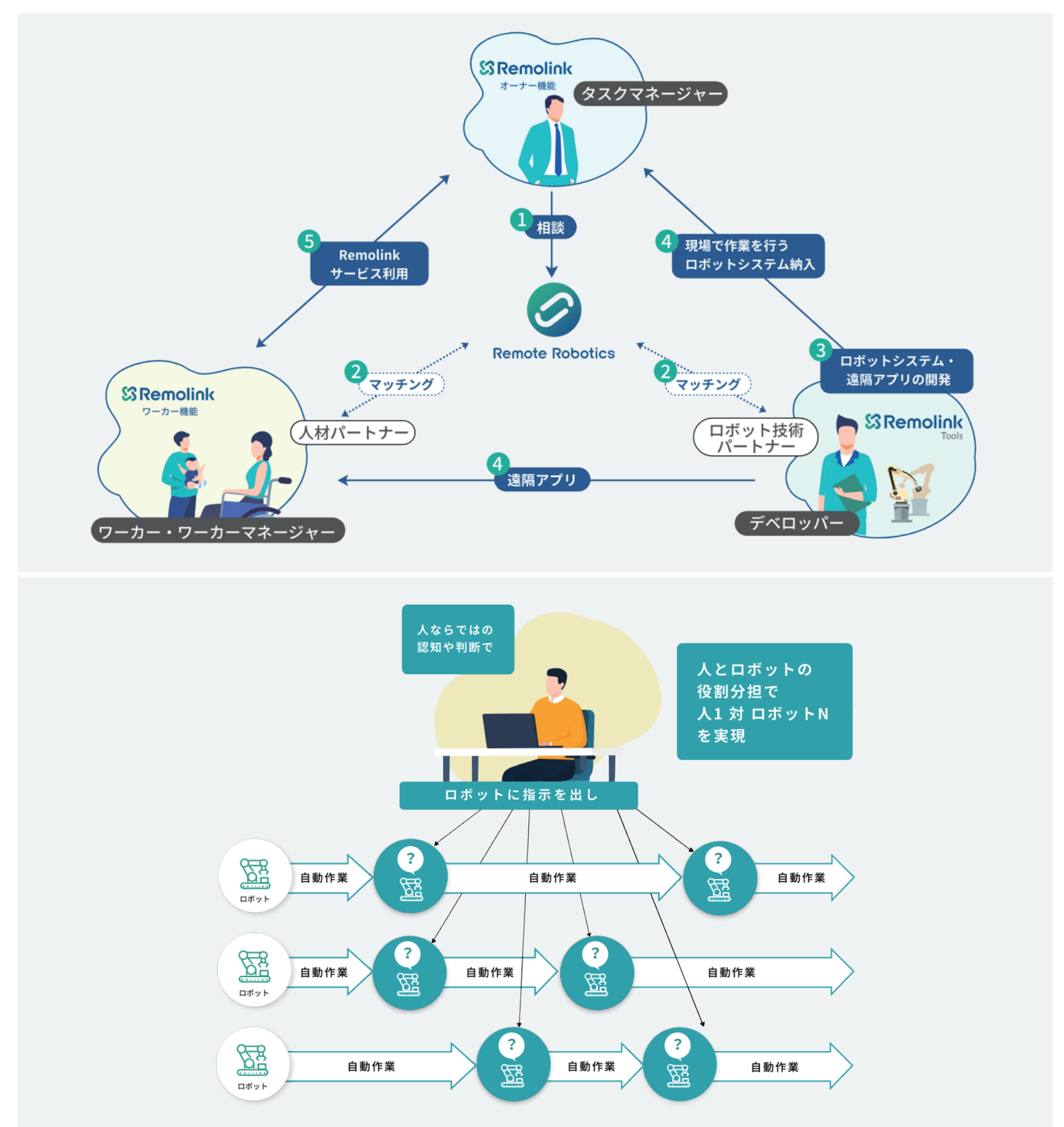
※デンソーウェーブにてロボット遠隔操作サービスのメニュー化を検討中

「Remolink」を通じて、現場に導入したロボットシステムに対し、人が遠隔で指示を行うことで、「人の判断」と「ロボットの自律動作」双方を活かした人とロボットがリモートで共に働く新しい選択肢を提案

リモートワーカーとのマッチングサービスや
オーナーとワーカー間の指示や実績確認などの機能が利用可能

出勤が難しい、フルタイム勤務ができない作業員でも
シフト勤務可能となり、雇用環境の改善や人手不足の解消に貢献

ロボットシステムの設置現場に行く手間がなくなり、
遠隔地から1人で複数のロボットを管理可能となるため、
1人工に満たない複数の工程を効率的に対応



Remolinkとデンソーロボットを組み合わせ、 外観検査工程をロボット化

AIによる画像検査とロボットによる自動搬送にロボットの遠隔操作を組み合わせたシステムを構築

異常データの収集が必要ない、良品学習AIにより短期間で検査実施可能

過検出や判定困難なワークに対して、人による再検査を遠隔から実施可能

更にAIに追加学習させることで、AIモデルの性能向上が可能

検査の流れ



システム構成

